



立冬でサザンかも

「がんばる人を応援する」について

選挙の折こんなキャッチコピーがありました。私はすごく違和感をもっていました。選挙後に私と同じ事感じていた方と話しました。「頑張れない人はどうするの？頑張れないのにはちゃんと理由があるよ。見捨てるの？」

今将来への明るい目標や希望が持てる人が果たしてどれだけいるのか。自分に自信を持っていて、有用感・自己肯定感がしつかりあるのは一部の人に限られているのではないだろうか。

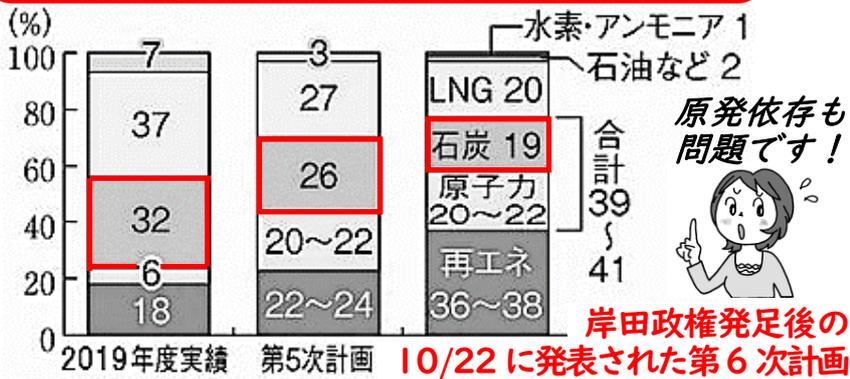
「頑張らないと見捨てられるよ」というメッセージ、自己責任論の冷たい闇が言葉の裏側に見え隠れする。がんばって地位も権力も得た側の人の上から目線の考え方なのでは？」と話しました。

日本また化石賞受賞(COP26 in グラスゴー)

岸田首相が国連気候変動枠組み条約第26回締結国会議(COP26)の演説で、石炭火力発電の使用継続に言及したことから、日本政府は2日、地球温暖化対策に後ろ向きの国に送られる「化石賞」を受賞しました。世界の環境NGOが参加する気候ネットワーク(CAN)が発表しました。

CANは、今回のCOPで石炭の段階的廃止が優先目標として掲げられていると指摘。「日本は2030年以降、50年以降も使用を続けようとしている」と批判しました。

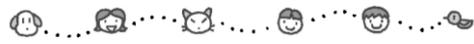
エネルギー基本計画で示された2030年度の電源構成



LNGは液化天然ガス/石炭、LNG、石油は火力発電

困った人は困っている人です。支援の届きにくい人ほど支援が必要な人です。やればできるとは限りません。

生活相談の中でもよく感じることです。気軽に助けてと言いたい。あえる社会こそが大切だと思います。



Webだけではやっぱりさびしい
人と人の交わりが心を満たす

コロナの影響で茶エンナーレや報徳サミットなどもWeb開催になりました。

茶エンナーレはネットで画像を見ていますが物足りなさが募り、会場開催しているところのいくつかは足を伸ばしました。



前回のようには市民参加の行事とのタイアップもほとんどなくやっぱり：無理なんだと思います。寄り集まって企画し、みんな準備して集い、終わったら喜び合うという課程の中で人は楽しむ。

勉強のための講義はオンラインで知識として入りますが、芸術のように感性で、体で受け止めるものは人や空間を共有しないで受け止めることが難しい。

いろんな人に笑いかけてもらえなかった赤ちゃん、鬼ごっこやかくれんぼしなかった子どもたち、サークルでわいわい騒げなかった大学生、友人と飲みに行けなかった大人。

コロナの波をこれ以上起こしてはいけません。日常が一番大事だと改めて感じました。